

第19号
平成21年2月15日
発行
「市民活動情報紙
なると」編集委員会

市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア
連絡協議会
☎685-7170
鳴門市市民活動
支援センター
☎684-0655

第7回鳴門市市民活動交流研修会が開催されました



講演会会場



マッチングフェア会場

第7回鳴門市市民活動交流研修会が、実行委員会主催により、2月11日にキョーエイ鳴門駅前店4Fで開催されました。

「人をつなぐ 地域をつなぐ 未来へつなぐ」をテーマにNPO法人徳島共生塾一步会理事長新開善二氏が基調講演をされました

新開氏は講演で、徳島共生塾一步会は公園づくり・ゴミゼロ推進・省エネ作戦など環境を良くする活動しております。“まちづくりは自分づくり”であり、汚れ役、汗かき作業は、さけるべからずなど、力量ある自分づくりへの10訓を話されました。また、常に謙虚さ、素直さ、周囲への感謝心を持ち続けるのは基本の基で、市民と市民、市民と行政が力を持ち寄るのは大切なことです。あなたも地域（鳴門）を思い、自分を思い、鳴門の誇りづくりに向けていい汗をかきませんかと呼びかけられました。最後に、参加者全員で「地球にエコしよう！ 私のエコ宣言」の歌に合わせてエコ体操をしました。

続いて、隣の会場で、「ボランティア・NPO・マッチングフェア」が開催されました。このマッチングフェアは、鳴門市が行った「市民提言ボックス」に寄せられた提案の中から、最優秀賞に選ばれた「ボランティア・マッチングフェアの開催」を実現したものです。

マッチングフェアには、ボランティア・NPO法人など20団体が出展しました。今回鳴門第一中学ボランティア部を含む出展団体の各ブースでは、参加者に団体を理解してもらおうと、写真を貼った活動紹介のパネルや会員が作った作品、助成を受けて、購入した電気自動車などを展示していました。ボランティア活動を希望する人は、関心のある団体のブースを訪れて、熱心に団体の活動について質問をしていました。

当日は、300名を越える参加者がありました。参加者は今後の市民活動参加につながるきっかけがで、団体は活動内容を知ってもらう機会が持てた有意義な交流研修会でした。

鳴門市に宅老所（小規模多機能施設）を ひろめよう

NPO法人地域交流の会コスモスはうす
理事長 民喜 正文

鳴門市に 4 番目のNPO団体として誕生した「コスモスはうす」も、地元の人に愛されて今年で 9 年目を迎えます。設立当初 115 名足らずであった利用者も昨年度では 2400 名ほどになり、これまでの累積では 10000 名近くになっています。

これも、ひとえにご利用の皆様のご理解とスタッフ・ボランティアの方々・地域の方々の心温まるご支援があったからだ、心より深く感謝申し上げます。

さて、私は昨年開催された「第 24 回徳島県ボランティア・NPO研究大会」の第 1 分科会で発表させて頂きました。そこでの発表内容は「宅老所・グループホーム（小規模多機能ホーム）の課題と展望」でした。この報告をもとに一つ提言させて頂きたいと思ひます。

まず、2006 年 4 月に介護保険法が改正され、介護予防の方針が示されました。この介護予防という点では、地域密着で行うのが望ましいと言われています。ボランティアやNPOで運営されている宅老所は、国や行政が出来ないところをカバーするという点では、好都合な施設だと思ひます。

堀江地区自治振興会の活動

私達の自治振興会は、北に阿讃山脈を背に天ヶ津の峰を仰ぎ、南は旧吉野川の清流を眺める 13 地区・2298 世帯で組織する自治振興会である。

地区住民と地域の連帯感を深め、融和と協調のもと、それぞれ継続性のある活動を実施している。

環境部会では地区内の環境整備を始め、平成 5 年の第 48 回国体時には「街を美しく」して他県の人々を迎えようと花いっぱい運動からはじまり、組織化された今日へと続いている。

毎年 10 月に行われるコスモス祭りに合わせて、真夏の畑作りから除草作業、種蒔きとピンク色に咲きほころ可憐な花に期待を込めて地域一体となって行っている。

また、文化部会では板東地区自治振興会文化部会と合同で大麻町全住民を対象として作品の募集を行い、270 点余の作品を毎年 11 月に堀江公民館を会場として一堂に展示し、作品を通して友好の輪を広げ、すでに 10 回の歴史を刻んでいる。



高齢者と犬との交流

次に、社会保障費が減額されている現状で、将来受給する人たちが国民年金 4 万 1 千円～6 万 6 千円（月額）で介護施設を利用する事ができるかどうか。この点を考えた場合、安価な費用でだれでも利用できる地域の宅老所のような民間施設が必要になってくるのではないかと、いう事です。

第 3 に、もともと介護保険制度だけでは、必要な介護総量の半分も提供できないと言われていています。人間らしい生活をするためには、介護保険+助け合いは不可欠であり、宅老所はその先駆的事業として注目されるべきだと思ひます。

以上の 3 点を踏まえ、鳴門市内の各ボランティア団体、各地区自治振興会（福祉部会）関係者や高齢者に対する地域福祉及び在宅福祉の向上について感心のある方々を中心に集まって頂き、鳴門市に宅老所をひろめる運動を展開し、高齢者の方々が住みなれた地域で生きがいを感じながら暮らせる社会の実現に向けて行動したいと考えております。



その他、体育部会ではゲートボール大会も 8 大会を数え、ゲートボール人口の減少はあるが地域の愛好者より喜ばれている。

安全部会に於いては、交通安全協会堀江分会とも協力し地区内の危険箇所及びカーブミラー等の点検・整備、更には各種イベント時の交通整理等を行い地域社会に貢献している。

福祉部会では、在宅寝たきり老人等のお見舞いと併せて、介護するご家族のご苦勞に謝意を表す慰問を行っている。

これらの活動は発足時より継続している事業である。

今後も当自治振興会として、地区内に点在する文化遺産等を活用した活動を実施する計画を立案中である。

生ごみを生かして 楽しい野菜作りをしませんか !!

リサイクル山田 佐藤 由紀



野菜畑

リサイクル山田は、資源を大切に、いろいろな分別をして、地域環境をよくする地域のサポーターとしてスタートして10年になります。特にゴミの分別は市内でも悪い地域でしたが、今ではモデル地区になっています。

リサイクル山田と言えば、アルミ缶とプルトップを集めて、800kgで車いす1台と交換できる取り組みで、たくさんの方々のご協力によりまして、今回までで10台交換できました。いろいろな所で活用していただいて継続して取り組んでおります。

また、現在は、EM活性液を作り地域に配布して地域の環境作り等、いろいろな取り組みをしている中で、今グループで楽しく活動していることを紹介します。

休耕地を借りて、家庭から出る生ゴミに、EMボカシを使って処理し自然に帰しエコ農園をして、4年目を迎えています。食の安全を考えるこの時、安心して食べられる野菜を自分たちの手で作り育てて家族への健康を。健康は食と私たちは考えています。また、畑作りで健康になりストレス発散には最高です。

取れた野菜で月に1回、料理教室を開いています。地域の先輩たちの知恵を頂きながら昔から伝わる料理や、簡単に出来るレシピをみんなで作って持ち寄り、毎回15名~20名集まり楽しくレパトリーを増やしています。この活動は板東公民館を利用しています。この活動は緊急の時の地域の炊事班としても活動できるよう常に声がけしています。

今後、生ゴミ処理、土づくり、野菜作りの勉強会を重ねていく予定です。

生ゴミは宝物です。ゴミに出さないで !!

新法人紹介

鳴門市に新しいNPO法人が誕生しました。よろしくお願ひします。

ガンバール渦のまち

- 【事務所】 鳴門市撫養町黒崎字八幡69-5
- 【理事長】 福田 譲
- 【分野】 経済活動・職業能力の開発
消費者の保護
- 【目的】 鳴門市及び周辺地域に対して、観光と一次産業の経済活動の活性化・雇用促進・消費者の保護に関する事業を行い、地域経済の更なる活性化を実現することに寄与する。
- 【事業】 地域活性化のイベント支援
一次産品の委託販売
雇用機会の拡充・情報提供
消費者からの苦情・暮らし相談事業

ほっこりタイム

- 【事務所】 鳴門市撫養町南浜字東浜34-7
城見ビル103号
- 【理事長】 乾 安奈
- 【分野】 保健・福祉
まちづくり
- 【目的】 鳴門市内とその近郊に在住する要介護認定を受けていない高齢者並びに精神障害者やその家族に対し、活動の場を提供し、創作的活動、生産活動を通じて、地域が助け合い、地域の交流により協調性やコミュニケーション能力の向上を図り、高齢者や精神障害者の社会参加に寄与する。
- 【事業】 地域助け合い
地域交流

助成金情報

(財)阿波銀行学術・文化振興財団助成

◇助成対象

- 学術部門 地域共同研究助成
文化部門 地域文化の発展に結び付く
地域文化活動

◇助成金額

- 学術部門 1件当たり100万円を上限
文化部門 1件当たり50万円を上限

◇締め切り

平成21年3月31日 必着

◇問い合わせ先

(財)阿波銀行学術・文化振興財団事務局
☎088-623-3131



海と川の ボランティア助成

◇対象団体

NPO、ボランティア団体

◇助成限度額

100万円

◇対象事業

親子で体験できる魅力的な海洋活動
海や川を楽しくきれいにする活動
海岸漂着物を調べて海から学ぶ活動
地域に根ざした海や川の文化、歴史、
技術を保全する活動
海辺の防犯活動 等

◇対象となる経費

助成事業の実施に「直接必要な経費
(事業費支出)」を支援

◇対象となる事業の実施期間

平成21年6月1日以降に開始、
平成22年3月31日までに完了

◇締め切り

平成21年4月15日 (消印有効)

◇問い合わせ先

日本財団 海洋グループ
☎03-6229-5152
FAX03-6229-5150

建物改修などの福祉拠点の整備事業

◇助成対象

財団法人・社団法人・社会福祉法人
NPO法人・ボランティア団体 等

◇助成内容と助成金額

- ・既存建物の改修による新規拠点の整備
財団法人・社団法人・社会福祉法人
助成金限度額 3000万円
NPO法人 助成金限度額
500万円(注1) 100万円

(注1) NPO法人を対象にした助成金限度額
500万円の事業は、障害者自立支援法
で定められた福祉サービス(地域生活支
援事業を含む)提供施設・介護保険法に
よる居住型の地域密着型サービス施設
(小規模多機能型居宅介護事業所等)

- 任意団体 助成金限度額 100万円
- ・既存福祉施設の一部改修による新規福祉
サービス拠点の整備
財団法人・社団法人・社会福祉法人
助成金限度額 3000万円

- NPO法人 助成金限度額 100万円
- ・既存福祉施設の改装

- NPO法人 助成金限度額 100万円

◇申請期間

平成21年3月16日~4月15日(予定)

◇問い合わせ先

日本財団 コールセンター
☎03-6229-5111

行事のお知らせ

子ども体験活動/郷土探訪 「遊山弁当を作ろう!」

【とき】3月7日(土) 10:00~12:00

【ところ】鳴門地場産業センター内5F
婦人会館調理室

【内容】遊山弁当づくりに挑戦
(メニュー未定)

【講師】山田 純子氏(成徳学園理事)

【対象】4才~中学生
(小学3年生以下保護者同伴)

【定員】30名(事前申込み)
申込み受付2月18日~(先着順)

【参加費】500円(当日集金)

【持ち物】遊山箱
(お持ちでない方は弁当箱でOK)

エプロン・三角巾・タオル

【問い合わせ先】☎685-0389
NPO法人ふくろうの森